

一般会計2億4,841万1千円を補正

熊谷市災害対策本部設置条例の一部を改正する条例などを可決

9月定例会の概要

初日（9月2日）の本会議では、市長から、「国では、野田新首相による新しい内閣が、本日組閣されようとしている。東日本大震災の発生からまもなく半年となるが、新しい内閣には、大震災からの復興や原発事故の収束、景気・経済対策などの迅速な対応のほか、将来を見据えた成長戦略に基づき、安定した施策の展開を期待している。

今年の夏の暑さは、昨年ほどではないが、依然として、厳しい暑さが続いている。本市では6月24日に6月の観測史上最高気温となる39・8度を記録した。このような中、これまでに実施してきた熱中症予防情報メールの配信や防災行政無線での放送、青色パトロール車による巡回広報などのほか、保存版の熱中症予防チラシの全戸配布や新たな5つの『暑さ対策』事業に取

り組むなど、市民の健康を守る対策を実施してきた。また、気象庁が発表した3カ月予報によると、『9月は平年並みか高い確率でまだまだ暑い日が続く。』とされているので、これらの対策を引き続き行い、市民皆様の健康を守っていきたいと考えている。

今回の一般会計補正予算の主なものは、民生費では、介護基盤緊急整備等特別対策事業で、既存のグループホームなど4施設のスプリングラ―整備や認知症対応型通所介護事業所の新設整備等に対する補助、放課後児童保育室整備事業で、奈良児童クラブを奈良小学校内に新設するほか、衛生費では、グリーンニューデイル太陽光発電等導入事業で、基金を活用し、太陽光発電パネルを本庁舎西側に設置するとともに庁舎の照明の一部を、LEDに改修する経費、また、消防費では、10月1日から行田市と共同運用する消防通信指令業務に係る経

費の組み替えを行うものである。教育費では、生徒指導における小中学校一貫推進研究事業として、吉見、市田小学校及び大里中学校が県からモデル校の指定を受け実施する事業の経費などを計上するものである。

土地区画整理事業特別会計及び水道事業会計では、それぞれの事業目的に沿った所要額の補正となっている。

一般議案では、江南総合文化会館や大里生涯学習センターなどの管理を指定管理者に行わせることができることとする『熊谷市立江南総合文化会館条例の一部を改正する条例』、『熊谷市立大里生涯学習センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例』などを提案している。『旨が述べられました。また、議員提出議案をすべて原案どおり可決しました。7日の本会議では、条例案や予算案に対する質疑が行われました。そして各議案は、



大里生涯学習センター あすねっど

所管の常任委員会に付託されました。

なお、平成22年度の各会計歳入歳出決算は、議会閉会中に審査されることになりました。

8日には、総務文教常任委員会及び福祉環境常任委員会において、また、9日には、市民産業常任委員会及び都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ審査が行われました。14日、15日、16日の3日間

平成23年9月市議会定例会は、9月2日から9月22日までの21日間を会期として開かれました。

この議会では、「平成23年度熊谷市一般会計補正予算」などの市長提出議案23件を審査し、21件を原案可決、2件の人事案件に同意しました。また、議員提出議案5件を原案どおり可決しました。